

すべての学校に専任・専門・正規の学校司書の配置を！



学校図書館には、子どもたちの読書活動を支援すること、調べ学習やホームルーム活動など教職員の教育活動と連携すること、子どもたちが安心して居られる場所として機能することなどが求められます。

そのような役割を果たす、いきいきとした学校図書館には、専門家である学校司書の存在が欠かせません。学校司書を配置した学校は子どもたちの読書量が増えるという調査結果も出ています。

しかし、学校司書の配置はまだ不十分です。小中学校では配置率が増加していますが、それでもやっと5割を超えただけです。常勤の配置率はほぼ横ばいで、全体の約1割に過ぎません。配置されている司書の多くが非正規で、複数校を掛け持ちしている司書もいます。高校は配置率、常勤の配置率がともに減少し続けていて、兼務が増えています。

2015年4月から施行された「改正」学校図書館法では、学校司書が初めて法的に位置づけられました。また、文部科学省では学校司書を含む専門人材の配置拡充を検討しています。すべての学校で、子どもたちが学校図書館を通じて読書の喜びを知り、豊かな人間性を育めるよう、専任・専門・正規の学校司書の配置をすすめる必要があります。

〈小中学校の学校司書の雇用の状況〉

*現在配置されている小中学校の学校司書は、臨時職員または非常勤嘱託などが殆どです。下表の事例から、給料水準がたいへん低いことがわかります。また、交通費の支給がない場合が多いです。

文部科学省の試算と3自治体の事例	概要	1人あたり単価(年額)	日給	時給
文部科学省：学校司書の配置 (地財措置 単年度総額150億円： 小学校約9,800人、中学校約4,500人)	1日6時間、週5日、年35週の 勤務で試算	105万円	6,000円	1,000円
A町(小学校)	勤務日年間120日	48.6万円	4,050円	
B市(小・中学校)	1日6時間以内 年間175日以内	115.5万円	6,600円	1,100円
C市(小・中学校)	週12時間(4~9月)	*6カ月だと22.3万円 *年額に換算すると 44.5万円		1,060円

*オレンジ色網掛け部分は、文部科学省試算または自治体の募集時の提示条件。C市については比較のため年額を35週として試算。

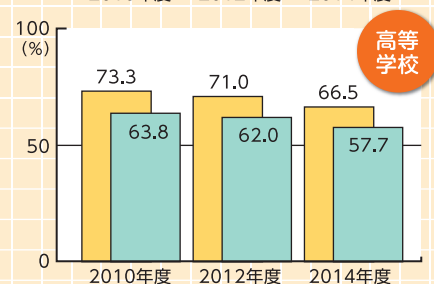
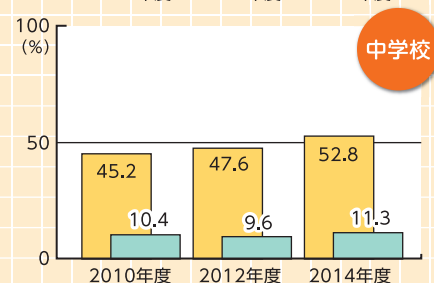
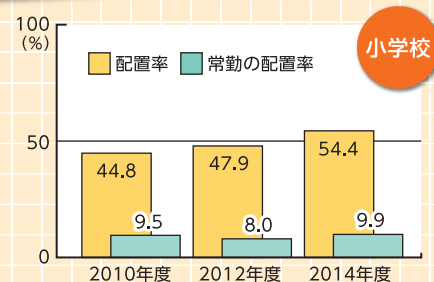
発行：全日本教職員組合 学校司書部・学校図書館職員対策部

〒102-0084 東京都千代田区二番町12-1 全国教育文化会館3階

TEL: 03(5211)0123 FAX: 03(5211)0124 Email: zenkyo@educas.jp

私たちは署名運動、中央要請行動、学習交流集会にとりくんでいます。

公立学校の司書配置率(%)



2010・2012・2014年度
文部科学省「学校図書館の現状に関する調査」より

本があって 学校司書がいて

夢

希望

と

を育む学校図書館



学校図書館法が改正され、2015年4月に施行されました。

長年、学校図書館を支えてきた「学校司書」が初めて法律に明記されました。

しかし「置くよう努めなければならない」とされ、資格要件・雇用形態については何らふれられていません。

そのため、依然として配置状況は自治体によってさまざまです。

学校図書館にはいつでも図書館にいる専任・専門・正規の学校司書が必要です。